

# アニマシオン

## animación

すべての子どもに読書教育を

商標登録 第 5139682号

特定非営利活動法人日本アニマシオン協会

商標登録 第 5139681号

会報 7号

2010年3月27日(土)発行

編集人/塚本 美樹 発行人/黒木 秀子

〒274-0825 千葉県船橋市前原西 2-21-8 松沢ビル 2F

TEL 047-402-3111 FAX 047-402-3061

ホームページ URL http://animacion.jp/メール info@animacion.jp

### 追悼

## 読書へのアニマシオンの創始者 マリア・モンセラット・サルトさん

二〇〇九年十二月三十一日にマリア・モンセラット・サルトさんがお亡くなりになりました。享年八十九歳。モンセラットさんは一九七〇年代からスペインで読書教育メソッド「読書へのアニマシオン」を開発された方であり、『読書へのアニマシオン 75の作戦』（柏書房）の著者であります。当協会では心よりのお悔みを申し上げるとともに、サルトさんの最初の本を翻訳紹介した佐藤美智代さん、青柳啓子さんをはじめとしたゆかりの方々、スペインで行われたセミナーに参加された方々に寄稿していただきました。



2006年12月、ご自宅でインタビューに答えるサルトさん

### 崇高な精神にふれて

青柳 啓子

二〇一〇年は佐藤美智代さんからの携帯メールで幕をあけた。モ

ンセラット・サルトさんの訃報を元旦に聞くと、は・は・はとしましこんでいた二〇〇一年のスペインセミナーのノートを取り出してみる。

当初は、作戦の手順や素材の事ばかりに目が向いていた。だが振り返って浮かぶのは、モンセラットさんの哲学的な品格ある物腰と「本を通じて子どもを解放する」というフレーズである。受講したのは同時多発テロ事件の三ヵ月後。彼女の言葉が力強く響いた。あの事件をめぐって、大人はいろんなコメントをする。そんな中で子どもたちは何を受け取ったのか？ 憎しみだろうか？ かつてのように子どもが自分の子ども時代を守りぬくことができない現代では、子ども自身が自分を守る手段を手に入れることが重要になる。最新のテクノロジーが社会を変容させ、環境が変わるということは七十年代にも起こっていたことだが、その後の現実はず想像よりもすんでいき、子どもは読まなくなっただけでなく、読む能力を失ってしまった。大人と同時にあらゆる情報を受け取っている子どもたちがそのしがらみから中立化した状態で成長するには読む力が必要。



## モンセラットさんに ¡Adios! アディオス

佐藤 美智代

2009年3月、マドリーでの再会、上野での2000年文科省招待の基調講演のその朝も会う場所は必ず「祈りの場」。ミサの場所を探して教会に行くと、そこにモンセラットさんが「居た」。というのが偶然ながら「事実」だった。

なぜ、こんな出会いをするのだろうか？ 謎は、スペイン語に隠されていた。まず、冒頭のスペイン語は日常「さよなら」の意味でも使われる ¡Adios! である。たとえ別れは辛くともいつかまた会えるという感じと、「この人とは再会できない。この事は、後戻りできない」という意味合いもある。

(フランス北部とドイツ西部で子供十字軍が自然発生し、人から「どこへ行くの」と尋ねられると、「神(の御許)へ」と答えていたのだという説もあるとか、a dios は、to god とイコールなのだ。)

1999年9月にマドリーのセミナー後、日本側の代表者が「次は、日本にお招きしますから是非ご講演をお願いします」と言った際に、モンセラットさんは何気なく言った。Si, Dios quiere (もし、神様が望むならば)と。そう、やはり彼女は スペイン大地の育むカトリックという土壌を養分にしてきたのだ。種を蒔いても生えないかのように見えるあの不毛な大地に生まれた カタルーニャ人とアラゴンの血をひく 不屈の女性ジャーナリスト。

最初のモンセラットさんとの出会いは、1994年の朝日新聞の記事で「カトリック」という単語を見たからだ。約束にたがわず2010年7月26日90才の誕生日、ご自分の体と精神の続くかぎり最後までカトリック雑誌の誌面づくりに捧げられた。柔らかさと剛毅を併せ持つモダンな人だったし、お茶目で冗談好きだが、一旦仕事になると「鷹」の鋭さと「ろば」のしぶとさを併せ持っていた。会えてよかったとしみじみ思う。

Adios Montserrat para siempre

心よりモンセラットさんにご冥福をお祈り申し上げます。

佐藤美智代 (さとう・みちよ) 当協会理事

しい形の手助けの方法である——スペイン行きは、私のその後のアニマシオン活動にはつきりと方向性を与えてくれた。条件・環境に恵まれない子どもたちにも読書の喜びを伝えよう、と。

感謝をこめて、ご冥福をお祈りいたします。

### サルトさんとの出会い

鈴木 淑博

二〇〇〇年秋、スペインでのアニマシオンセミナーに参加した時、サルトさんとの出会いでした。あの時既に八十歳を超えるおばあちゃまでいらしたのですが、夜の夕食会では、真夜中までおつき合いくださり、翌日は朝から全く疲れも見せずに、講義をなさっていたことに本当に驚きました。

講義はユーモアを交え、笑顔でお話になるのですが、一番印象に残っているのは、参加者の一人一人を即座に把握され、その個人々に語りかけていらしたということです。一人一人を尊重することは、こういうことなのかと感心しました。

このことは二〇〇四年のセミナーの時にも同様でした。四年前の参加者を実によく覚えていてくださったこと、今も心から感謝しております。

鈴木淑博(すずき・よしひろ) 当協会監事 慶應義塾普通部教諭

### セミナーで心に刻まれたこと

太田 克子

スペイン・セミナー一日目、モンセラットさんは、アニマドールを闘牛士に擬えて、よく観察することとアルテ(技と能力)が一体となつて、フエゴ(遊び・かけあい)ができるのだと、親指と人差し指を立てて両手で角のようにして、アニマドールの使命を私たちの心に刻みました。

セミナー最終日には、アンデルセン(児童文学の生みの親・二〇〇五年が生誕二百年)についてお話を聞き、作家・作品論の大切さを示唆してくださったのだと思います。

お礼に差し上げる日本の絵本を紹介する私たちの一言一言に、コメントなざる丁寧さ、お渡しした本を楽しそうに繰るご様子、慈愛に満ちた眼差し、彼女はアニマシオンそのものでした。冥福をお祈りします。

太田克子(おた・よしこ) 当協会会員・群馬県立高崎商業高等学校司書

### サルトさんの人柄に触れて

渡部 康夫

読書へのアニマシオンと出会ったのは、一九九七年のことでした。私は子供の読書のホームページを出していました。柏書房の編集者の方がホームページを見て、『読書で遊ぼうアニマシオン』の本を紹介して下さい、アニマシオンに興味を持つ方々と出会わせて下さったのです。

当時、私はこれまでの読書指導に疑問をもっていました。もつと子どもたちの心に響く活動はないだろうか、思っていたのです。そんな時に「読書へのアニマシオン」と出会ったのです。

そして、二〇〇〇年モンセラット・サルトさん来日の際の夕食会で、通訳を通してですが初めてお話をすることができました。二〇〇四年にスペインでアニマシオンの研修を受けた時にも、直接お話を聞くことができました。

決して粹がることのない人柄に触れて、アニマシオンの本質は人間主義であることを実感しました。モンセラット・サルトさんの訃報を聞いて、私たちは、モンセラット・サルトさんの意志を継いでいかななくては、とつくづく思うのです。

渡部康夫(わたなべ・やすお) 当協会会員・神奈川県川崎市白幡台小学校教諭

### 繊細でパワフルな方

二見 小百合

サルトさんは、セミナーの初めに「エステルのおばあちゃんです」と自己紹介して笑いました。それから、どうすれば子どもたちに読書の力がつけられるのか、アニマドールはどうあるべきかをこ講義され、アニマシオンの理論を学ぶことの大切さを繰り返し熱く

語っていらつしました。また夕食会では、午前1時過ぎまでアルコールを交えて賑やかに歓談し、スペイン女性の魅力を示しておいででした。

セミナー終了証をいただいた舞い上がる私に、ご一緒してくださった記念写真に写るサルトさんの温かな笑顔は、何よりも大切な宝物です。

常に遊び心に包まれていたサルトさんのご冥福をお祈り致します。

二見小百合(ふたみ・さゆり) 当協会理事

### スペインセミナー事務局を務めて

天田 比呂志

「だってここは〇〇なんだから」、海外旅行に出かけると、一度や二度はこの言葉を使います。トラブルはつきものですが、今回のスペイン行でもトラブルの種が満載でした。

現地に着いてまず驚いたのは参加者の「個性」。アニマシオンを勉強しようという方向はそろっているはずなのにそれ以外には実に、次に驚いたのはエステルの皆さんのパワー、実に。最も驚いたのは何と言ってもモンセラットさんの読書へのアニマシオンに賭ける情熱の熱さと優しい笑顔でした。

モンセラットさんが部屋に入ってきたときはまさに「スペインのおばあちゃん」でした。それが、読書へのアニマシオンを語り始めたら、次から次へと言葉があふれ、通訳さんも伝えるのに必死でした。

私はスペイン語が分からないのに、分かった気持ちになつてしまったのが不思議なくらいでした。この笑顔に出会うためにスペインにきたんだ、と気苦も吹き飛んだ半日でした。だってここはエステルなんだから。

天田比呂志(あまた・ひろし) 当協会副理事長 群馬県立館林女子高等学校教頭

当協会では、モンセラット・サルトさんの葬儀ミサの日に「今はすでに神の御許に安らうマリア・モンセラット・サルト先生へ」と題した追悼文を、エステル文化協会のキカ・リボルさん宛てに送りました。追悼文の全文は3面に掲載してあります。



# 本を読める子どもたちを育てたい

## ～八王子市立館小学校と立川市立松中小学校の取り組みから～

日本に「読書へのアニマシオン」が紹介されてから十余年。この間少しずつアニマシオンを学校で実践される先生方が増えてきました。読書教育の推進のための指導法を模索する中でアニマシオンに出会われ、自ら研修を受けられた先生方が熱意を持ってアニマシオンに取り組んでおられます。取り組みは、学級単位で単発に行われていたものから、年間の計画を立てて、あるいは学年全体としての実施。そして年度をまたいで継続的にというかたちに至っている学校まで現れてきました。アニマシオンが着実に広がってきていることを感じられるようになってきている中、一月と二月に東京都内の公立小学校で行われた研究発表を参観する機会を得ました。編集部から二校の当日の公開授業、研究発表、講演の報告をいたします。

### 八王子市立館小学校の取り組み

#### 読書大好き、笑顔がいっぱい!

一月二十七日(水)に東京都八王子市立館小学校において、八王子市教育委員会研究協力校としての研究発表が行われました。研究発表は、「読書好きな子に育てるための指導法の工夫」。研究発表では、全七学級中四学級でアニマシオンによる授業が行われていました。

当日、館小では、このテーマの実践のために為された様々な工夫の一環としての本の紹介カードや読書記録、その他読書活動に関連した掲示物が、学校中のあらゆる場所に張り出されていました。それらの種類の多さ、量の多さに驚かされましたが、一枚一枚の紹介カードや、読書記録を大変丁寧に記入しているところから「読書大好き、笑顔がいっぱい!」になっている子どもたちの様子が伺え、感動させられました。なお、各学級での公開授業の内容は表1の通りです。

#### 二つの手立て

館小では、読書好きな子を育てる指導に三種類の手立てを考えています。

- ① 手立て1「指導法の工夫」
- ② 読書テーマの設定(月ごと)
- ③ アニマシオン
- ④ ブックトーク
- ⑤ パネルシアター
- ⑥ 読み聞かせ
- ⑦ 本の紹介
- ⑧ 図書室のしおり
- ⑨ 読みなすったカード(親子読書記録)
- ⑩ おすすめ本紹介カードと読書記録カード。これらのカードをまとめた読み隊BOOK
- ⑪ 手立て2「環境の改善・工夫」
- ⑫ カードの掲示
- ⑬ 昼読書
- ⑭ 読書目標の設定
- ⑮ 学級文庫と読書テーマ
- ⑯ 学級文庫&しおり
- ⑰ 本の題名を表紙で紹介
- ⑱ 図書室の整備
- ⑲ 諸機関との連携
- ⑳ 親子読書の奨励



『1こでも100このりんご』1年生

学年・組	授業内容
1年1組	『1こでも100このりんご』アニメーション作戦9
2年1組	『アイラのおとまり』アニメーション作戦2
3年1組	『のらねこ』アニメーション作戦12
4年1組	ブックトーク&テーマ読書 テーマ「昔話の本」
5年1組	児童による読書発表会
6年1組	ブックトークテーマ「世界の人々の暮らし」
6年2組	『アンソニー』アニメーション作戦5

表1 館小学校の公開授業

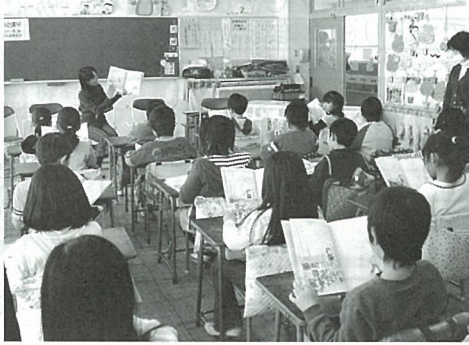
#### 読書のおけいこ

三つの手立ての中の指導法の工夫としてアニマシオンが取り上げられています。主に低学年でアニマシオンが実践されています。本好きの子どもにするための手立てとして、読み聞かせやパネルシアター、ブックトークなどがあります。アニマシオンは「読む力をつけさせる」という位置づけられています。そのためにも無理のない作戦での実施が心がけられています。

- ① 読み聞かせボランティア
- ② 手立て3「伝え合いの工夫」
- ③ おすすめ本紹介
- ④ 読書発表会
- ⑤ 読書郵便
- ⑥ 縦割り班読み聞かせ集会
- ⑦ 読書記録カードの掲示
- ⑧ ランキング掲示(子どもによく読まれている本)
- ⑨ おすすめ本紹介朝会
- ⑩ 学級通信等で紹介
- ⑪ 授業を公開

### 中学年・高学年での課題

低学年からの継続的な取り組みにより本好きの子どもの割合は多いのですが、学年が上に行くにしたがって、ストレートに「本が好き」と答える子どもより、「まあまあ好き」と答える割合が増えていくのが実情のようです。この「まあまあ」とすることの理由の一つに、「いつも好きな本に出会うとは限らない」ということがあげられています。また、「漢字や小さい字が苦手」という理由もあり、読書活動を支える技能をつけさせるために高学年でもアニマシオンを活用していく必要が考えられています。



『アイラのおとまり』2年生

### 立川市立松中小学校の取り組み

#### 全学級アニマシオンの研究発表

二月九日(火)に東京都立川市立松中小学校において、立川市教育委員会読書推進校としての研究発表が行われました。研究発表は、「豊かなかわりを通して、思いやりのある子どもを育てる」というテーマで、全学級で実施されました。当日の各学年、学級での予読本と作戦は表2のとおりです。研究発表は、「豊かなかわりを通して、思いやりのある子どもを育てる」というテーマで、全学級で実施されました。当日の各学年、学級での予読本と作戦は表2のとおりです。

学年・組	予読本	作戦
1年1組	もりのなか	2番
1年2組	ねずみのおいしゃさま	2.6番
2年1組	黒ねこのおきやくさま	2.9番
2年2組	オバケちゃんとおどりたか馬	3.6番
2年3組	ぶぶぶブタのすてきなみみ	2.9番
3年1組	ルラルさんのにわ	2.8番
3年2組	王さまと九人のきょうだい	5番
4年1組	バレエをうどめたか馬	5.4番
4年2組	くまざぶろう	1.2番
5年1組	赤い鳥の国へ	1.1番
5年2組	おふろのなかからモンスター	7番
5年3組	ねずみ女房	1.1番
6年1組	オフエリアと影の一座	3.1番
6年2組	カモ少年と謎のペンフレンド	5.4番

表2 松中小学校・公開授業の予読本と作戦



『ぶぶぶブタのすてきなみみ』2年生

#### 本を通して友だちと関わる

予読が難しい1年生は、読み聞かせによるアニマシオンからスタートし、回を重ねるにつれてアニマシオンのルールを理解するとともに予読しての作戦にのぞんでいました。二年生にとっては二年目となるので本好きも増え、アニマシオンで扱った本をその後も手に取る子や、自力での予読が難しい友だちに読み聞かせをしてあげる姿もみられるようになったとのこと。また、アニマシオンを行う中で友だちの考えを聞き、本を通してのかわりや読書への楽しみにつながっていると感じられるようになったという話でした。

#### じっくり考える

「本や友だちとのかわりをたのしむ」低学年から、「一人ひとりの考えを大切にしたり協力し合う」とことを目指す中学年。質問カードが渡されると、皆それぞれじっくりと考えています。順番に答えていく中で、他の児童の発言をじっくりと聞いて、うなずいたりする姿なども見られました。うまく答えられない児童もさりげなく助けられていたり、よい雰囲気です。本好きでよく読めて、積極的な児童がいる一方、自力での予読が困難な児童もいるので、担任の先生が読み聞かせをしているとのことでした。

#### 互いの意見を尊重する

高学年では、アニマシオンの作戦を行う中で、互いの意見を尊重したり、自分の意見と友達の意見を交換したり、あるいはグループで話し合い協力し合うことによって、豊かなかわりを目指しています。アニマシオンで使用する本も時間をかけてしっかりと予読する必要のある本や、深く考えさせられるような本になっています。公開授業時にも、思索的に深い内容の答えをする児童や、長い物語にもかかわらず、登場人物のセリフをすらすらと語っている児童を目にする、さすが高学年と思われました。



『オフエリアと影の一座』6年生

#### 講演会

二月二十七日の館小学校、二月九日の松中小学校の両校共に、講演会は当協会理事長黒木秀子氏が講師を務めました。

#### 「本を読むとどうなるか」

講演会では「本を読むということ」について、子どもの発達段階順に、どのように読書力をつけていくべきか具体的な事例を挙げながらの話がありました。「子どもを讀み手にするには教育が必要である」(M・M・サルト)の言葉を引きながら、「本とは何か?」「なぜ本を読まなければならないのか?」といった簡単な答えることが難しい問いを立て、それについて答えるといった、非常に考えさせられ、かつ、なるほどと納得させられる内容でした。



講演会での黒木理事長

学年	1学期	2学期	3学期
1年	『りんごの木』 作戦1 読みかえた読み聞かせ 『あたごの浦』 作戦2.6 ここだよ	『したきりすずめ』 作戦5.5 聴いたとおりにします 『ふんふんなんだかいいにおい』 作戦2.9 物語を語りましょう 『きょうりゅうたちのおやすみなさい』 作戦2.9 物語を語りましょう	『もりのなか』 作戦2 これ、だれのもの? 『ねずみのおいしゃさま』 作戦5.5 聴いたとおりにします
2年	『おんどりボルケ』 作戦5.5 聴いたとおりにします 『おさるのまいにち』 作戦1.2 前かな、後ろかな?	『すばらしい季節』 作戦3.0 何てたくさんものがあるんでしょう! 『ぶぶぶブタのすてきなみみ』 作戦2.9 物語を語りましょう	『黒ねこのおきやくさま』 作戦2.9 物語を語りましょう 『オバケちゃんとおどりたか馬』 作戦3.6 物語ではそう言ってる?
3年	『かしいポリーとまぬけなおおかみ』 作戦1.0 つかまえるよ!	『おふろやさん』 作戦5.3 よく見る、見える	『ルラルさんのにわ』 作戦2.8 本から逃げた 『王さまと九人のきょうだい』 作戦5 いる?いない?
4年	『三つのお願ひ』 作戦2.9 物語を語りましょう	『ランバンバン』 作戦5.5 聴いたとおりにします	『くまざぶろう』 作戦1.2 前かな、後ろかな? 『バレエをうどめたか馬』 作戦5.4 だれが だれに 何を?
5年	『番ねずみのヤカちゃん』 作戦1.0 つかまえるよ!	『おじいちゃんの口笛』 作戦3.1 どうして? 『おふろの中からモンスター』 作戦7 どんなん?	『赤い鳥の国へ』 作戦1.1 これが私のつけた書名 『ねずみ女房』 作戦1.1 これが私のつけた書名
6年	『まほうのスープ』 作戦1.0 つかまえるよ!	『ファーブルの夏物語』 作戦3.6 物語ではそう言ってる? 『百まいのドレス』 作戦1.2 前かな、後ろかな?	『カモ少年と謎のペンフレンド』 作戦5.4 だれが だれに 何を? 『オフエリアと影の一座』 作戦3.1 どうして?

表3 松中小学校アニマシオン指導計画



### 島根県を旅して

黒木 秀子

昨年十二月と今年一月の二回、島根県江津(こうつ)市立図書館から、「こども読書の街」地域こども読書推進事業の中でアニマシオンを行ってはどうだろうか?とお声をかけていただき、江津市へお邪魔しました。

江津市教育委員会生涯学習課の担当者様、江津市立図書館の館長様皆様に大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

個人的には、島根県を訪れたのは生まれて初めてのことでした!出雲空港に市教委の担当者が車で迎えに来てくださって、そこから二時間弱の道のりを江津市へ。明るい日差しの中、美しい日本海を眺めながら行きました。

江津市は人口約二万六千。市立幼稚園二園、小学校一〇校、中学校四校を有し、そしてなんと市内には高校が三校もあるのだそうです。面積が広く、通学距離を鑑みると、こういう学校数になるんですよ、とのこと。



江津市立津宮小学校 1年生

十二月には、江津市立津宮小学校と市立江津幼稚園へお邪魔しました。津宮小学校では一年生と楽しくアニマシオンをして、その後、職員研修会も開いていただき、先生方にアニマシオンの紹介をさせていただきました。

一月には、日本航空が倒産した翌日に日航機に乗って行きました。出雲空港へは日航しか飛んでいないのです。当日、羽田または機中で何か倒産か?と思いましたが何もなく、何もなかったように綺麗なキャビンアテンダントさんにお世話されて往復しました。

生と五年生とでそれぞれの学年ごとにあらかじめ全員が読み終えた本についてのアニマシオンをしました。また、江津東小では、職員の方、近隣の方、市教委の方々も交えて研修会を開いていただきました。

高角小ではやはり予読で、三年生と六年生とでアニマシオンの授業をしました。かわいらしい授業感想文を書いてくださった高角小三年のみなさんありがとうございました。

ができていた。返却貸出を待つための列。図書館はおおにぎわい。

◎全日勤務の司書さんにより、とても細かな図書館整備が行われていた。例えば、二リットル入りの空きペットボトルを横にしたものを入れ込んである。このペットボトルを全校生徒に呼び掛けて集めたとのこと。

◎高角小三年生と『おふろやさん』(西村繁男 福音館書店)を読んだときに、「神田川」の歌を歌った子どももいた!どうしてそんなに昔の歌を知ってるの?

◎江津東小の給食は、大きな焼のりが一枚出て、それに梅干または焼きサケを入れて、自分で握って御結びにして食べるメニューだった。とても美味しかった。梅干は学校でのお手製のものと。

楽しい思い出を書いていると尽きません。アニマシオンのおかげで日本中を旅させてもらって、



江津市立江津東小学校 5年生



江津市立高角小学校 6年生

### 連載リレーエッセイ第八回

### 小さい頃好きだった本

竹内 妙子

街中から本屋さんがなくなってしまうと感じるのは、私だけだろうか。私の家の近くの商店街にあった小さな本屋さんもいつのまにかシャッターをおろしてしまっ

た。街中で頑張っている本屋さんを見かけると、子どもの頃を思い出してしまう私だ。

私が育った地方の一都市にも、私の小中学校時代には、本屋さんは何軒もあった。御多分にもれず、今では大きなチェーン店のみになってしまったが、そんな本屋さんの一つが家の近くに

あった。そこが私のお気に入りの場所だった。小さな本屋さんだが、子どもの本のコーナーがあり、そこをながめているだけで楽しくなるのだった。また週刊の雑誌や月刊の雑誌は、予約すると買いに行

### 『ドリトル先生』にはまる

そんな私が一番先に、はまってしまったのは、『ドリトル先生』シリーズだろう。動物の言葉がわかるドリトル先生の活躍にすっかり魅せられ、次々に読み進めていくことになる。母に「本を買って」と言うと「漫画じゃないんだね」と許されるのをいいことに、家の近くのその本屋さんに行き、一冊は買い、もう一冊は立ち読み...おじさんのお目こぼしのおかげでついに何日かがかりで読んでしまったこともあった。

### シリーズものに夢中に

次に夢中になったのは、『赤毛

のかなくても店のおじさんが配達してくれることになっていった。毎週我家に配達される『マーガレット』で、『アタックNO.1』や『ベルサイユのばら』や『エースをねらえ』に夢中になり、漫画ばかり読んでいると母を嘆かせたものだ。

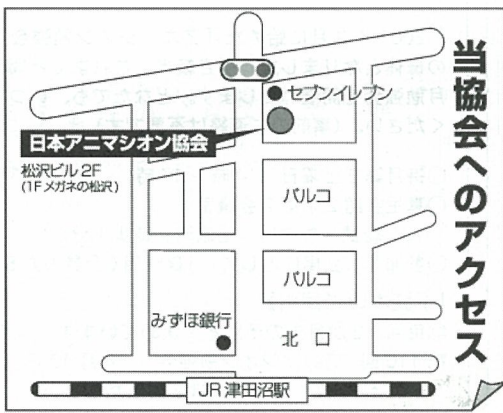
### 『科学』まだ続いていたんだ

最近、学研の雑誌『科学』が休刊になったというニュースを聞いた。いまだに『科学』が続いていたことにびっくりすると共に、そう言えば、自分も小学生の頃、『科学』を買っていたなあと懐かしく思った。実家の自分の机の引き出

### 感謝の気持ち

昔の事を思い返す機会を得て、思った事は、今は亡き両親への感謝だった。雑誌を取ってもらったことを始めとして、クリスマスにはよくセットで本を買ってもらった。また百科事典も自分用に使っていた。商売をしていて忙しかつた両親から本を読み聞かせてもらったという記憶はないが、たくさん愛情をかけてもらっていたなあと感謝の気持ちでいっぱいになった。

### 協会へのアクセス



#### 協会設立の趣旨

アニマシオンとは「活性化」という意味で、ヨーロッパで青少年の文化活動に開いて広く使われてきた言葉です。

私たちは、スペインのモンセラット・サルトさんが開発した「読書へのアニマシオン」を学ぶグループです。アニマシオンという読書教育法を通じて、質の高い読書を進められる子どもを育てたいと考えています。

協会の活動目標は、系統的、計画的な読書教育としてのアニマシオンの各地での実施を支援することであり、主に以下の三つの事業を行います。

- ① アニマシオン実施用の図書貸し出し(送料のみ利用者にご負担いただきます)
- ② アニマシオン紹介のためのイベント、講演会等
- ③ アニマシオンの実施のための研修、講師の養成

## \* 特定非営利活動法人 日本アニマシオン協会 入会案内 \*

**【会員募集】**

1. 正会員 アニマシオン用図書の貸し出しを受けられます。定期的に会報をお届けします。協会主催の催しでは正会員割引があります。
2. 支援会員 協会の趣旨に賛同いただき、会費を納めることで活動を支援していただきます。

**【入会金・年会費】**

1. 正会員 入会金 2,000円、年会費 3,000円
2. 支援会員 年会費 1口 50,000円 (1口以上)

**【入会方法】**

1. 事務局までご連絡ください。(電話、FAX、メール) 協会案内と払込票を郵送いたします。
2. ゆうちょ銀行にて会費をご送金ください。
3. 入金確認後、事務局より会員証(会員番号記載)を郵送します。
4. 毎年4月からの新年度には年会費を納入してください。(会員証は3月31日まで有効となっています)

**【協会事務局】**

電話 047-402-3111  
FAX 047-402-3061  
E-mail info@animacion.jp

**《 振込先 》**

ゆうちょ銀行 00250-3-66418  
口座名 特定非営利活動法人  
日本アニマシオン協会

May be in peace now beside God, Dona Maria Montserrat Sarto

I'm fied with surprise and grief to hear the news of Montserrat's death as soon as the new year came.

Montserrat contrived 'animacion a la lectura', a teaching method for children's reading and completed it between 1970s-1990s. It was a method to educate children's reading ability.

She received JBBY Asahi promote children's reading prize in 1993. And in 1997, her work 'Animacion to reading' was translated and established in Japan. By this work, we, Japanese practicing animacion, now, knew Dona Montserrat for the first time.

Since then, Montserrat and other members of Estel culture association took place seminars for Japanese animadores four times from 1999. We really thank your favor.

We visited Madrid to take lesson of Montserrat, and we brought back to Japan what we learned there. With those experiences, we have worked for Japanese children who didn't know how to read. And it was big pleasure of us that we could welcomed Montserrat's visit to Japan in May 2000.

Her warmth and humor gave us a conviction that animacion is to enjoy and ability of reading should be nourished under enjoyment.

It is regrettable that we cannot learn her more. We feel sad because there are no more chance Montserrat talk to us.

But, now in Heaven she must practice animacion with angels as Michael.

Ende drew in 'Offerias shadow theater'. We wish she is in peace forever there, and look us after.

Loving children and books for them and having a lot of childness, Montserrat is always loved and respected.

Goodbye.  
Please in peace.

2010.1.26  
Chairman of directors of NPO Japan Animacion Association  
Kuroki Hideko

「今はすでに神の御許に安らうマリア・モンセラット・サルト先生へ」  
モンセラットさんのご葬儀ミサの日に、エステル文化協会のキカ・リボルさん宛てに当協会理事長黒木秀子が送った追悼文

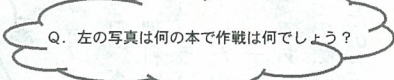


アニメーション用貸出し図書リスト (2010年3月現在) ※リストは対象学年別・アイウエオ順になっています。

Table with 4 columns: 小学校低学年向き, 小学校中学年向き, 小学校高学年向き, 中高生以上. Each column lists book numbers and titles.

アニメーション用貸出し図書とは?

ひとりでも多くの子どもに読書教育を体験してほしい、たくさん先生方にアニメーションを実施していただきたいと考える私たちは、アニメーション用・20冊同一図書セットの無料貸出しを行っています。先生方がアニメーションの良さを評価してくださっても、なかなか実施に踏み切れない理由のひとつに、同じ本をたくさん揃えることの大変さがあると思います。そこをなんとかお手伝いできたらと思っています。貸出しのルールは、20冊ワンセット、貸出し期間=原則1か月、送料借り方負担(私どもからお届けするときには「着払い便」でお出しして先生方が返却くださるときには「元払い便」で。)お申込みはFAXまたはメールでアニメーション協会へお願いします。こちらから電話等で確認させていただくこともございますので、宜しくお願いします。また、貸出しに関わる細かなこともご相談ください。できる限り皆様のご便宜を図りたいと思っています。



Q. 左の写真は何の本で作画は何でしょう?

新着図書紹介

今期(1月~3月)は7種類の新しい作品を入れました。『アリババと40人の盗賊』馬場のぼる作... 『くつやのまるちん』トルストイ原作... 『ダイアナと大きなサイ』アーディゾーニ作... 『ぼくねむくないよ』リンドグリーン文... 『オペラハウスのなかまたち』フリーマン作... 『ねこのホレイショ』クライマー文... 『魔笛』ミヒャエル・ゾーヴァ画...

勉強会のお知らせ

2001年3月に始めた「アニメーション勉強会」が当協会の母体となりました。引き続き、これまでと同じように毎月勉強会を開催いたします。どなたでも、いつでもご出席ください。(事前のご連絡は不要です) ○毎月第2土曜日 14時~17時 ○真生会館2階第2会議室 (JR総武・中央線「信濃町」徒歩1分) ○参加費(会場代として)1,000円(会員の方500円) 【予読本のご案内】 ◎毎回、2か月先の予読本を決めています 第110回 アニメーション勉強会 4月10日(土) 予読本 『ぼくにはしっぽがあったらいい』 ながわちひろ作 理論社 1,000円+税 第111回 アニメーション勉強会 5月8日(土) 予読本 『風にのってきたメアリー・ポピンズ』 P・L・トラヴァース作 林容吉訳 岩波少年文庫052 720円+税

勉強会の報告

第108回勉強会 2月13日(土) どなたでも、いつでもどうぞ、というスタンスで勉強会を行っているため、当日にならないと何人集まるのか、どなたが出席されるのかわからず、まさに一期一会でどんな展開になるか、毎回楽しみです。今回は、初めて参加されたかたも、ずいぶんご無沙汰だったけどと出席の方もありました。どなたも実りある時間を共有したのではないかと思います。予読本の『グラタンおばあさんとまほうのアヒル』(安房直子作・いせひでこ絵・小峰書店)を使い、作戦7(どんな人?)を体験しました。「何ページのどこに書いてあるか言えるように」、「アヒルはその人をどう思っているのか」、「絵から読み取ると?」、などに注意しながらやりました。「出合いは一人ぼっちの人だけ」という、改めて安房ワールドの特徴を再認識しました。ノンフィクションでのアニメーションの例として、以前の勉強会でも体験したことがある『ぼくは「つばめ」のデザイナー』(水戸岡鋭治著・講談社)の紹介がありました。作戦は32番(どれが本当の話?)で、要約文は、本当に適切な文章であるか検討する必要があるという留意点の指摘がありました。寒い冬にぴったりの絵本『イゴールの金の鈴』(ミレイユ ダランセ著・評論社)の読み聞かせの後、作戦29番(物語を語りましょう)の紹介がありました。どんなに良書であっても、「全員がその本が好きであるということはいえない」ということをいつも心にとめておかなければいけない。良書に出会うためには、「常に選書より探書の意識」を持つ必要があるということを確認しました。他に、東京都八王子市立館小学校と東京都立川市立松中小学校の研究発表会を参観された方の報告、保育園でのアニメーション実践報告など盛沢山な内容でした。(森 和子)

総会案内

特定非営利活動法人日本アニメーション協会 第2回会員総会のご案内 法人の平成21年事業年度を終え、所轄官庁へ提出する事業報告を会員のみなさまに承認していただく総会を開きます。定款の定めるところにより、この会員総会が当法人の最高決定機関となります。会員のみなさまにはご多忙とは拝察しますがぜひともご出席をお願い申し上げます。 記 日 時 平成22年6月12日(土)14時~17時 会 場 真生会館(東京都新宿区信濃町) 内 容 会員総会+講演会(講師依頼中)

事務局便り

卒業、入学の季節となりました。芭蕉の句「さまざまなこと思ひ出す桜かな」の通り、この時期になると積み重ねた年月のその節目の思い出が一気によみがえり、花の香にむせるような心持がします。事務局も、新しいスタッフを迎えて、少しずつですがスムーズな連絡体制や業務管理への努力を始めています。HPも復旧しました。この会報七号は三月二十七日の第四回アニメーション読書教育セミナーに合わせて発行します。次号は六月十二日の会員総会の日発行の予定です。会報へのご意見や感想をお寄せください。お待ちしております。(黒木秀子)

編集後記

年四回発行のペースなら何とかできるかなと、何の根拠もなく気軽に引き受けてしまった会報編集。実際は三ヶ月の間に、企画、原稿を依頼し、場合によっては取材に出向く。となかなかの仕事量です。次号こそは余裕を持っての発行を目指そうとはしているのですが、直前のどたばたは毎度のことであります。それでもご協力くださる多くの方からいらっしやることには本当に毎回感謝しております。(塚本美樹)